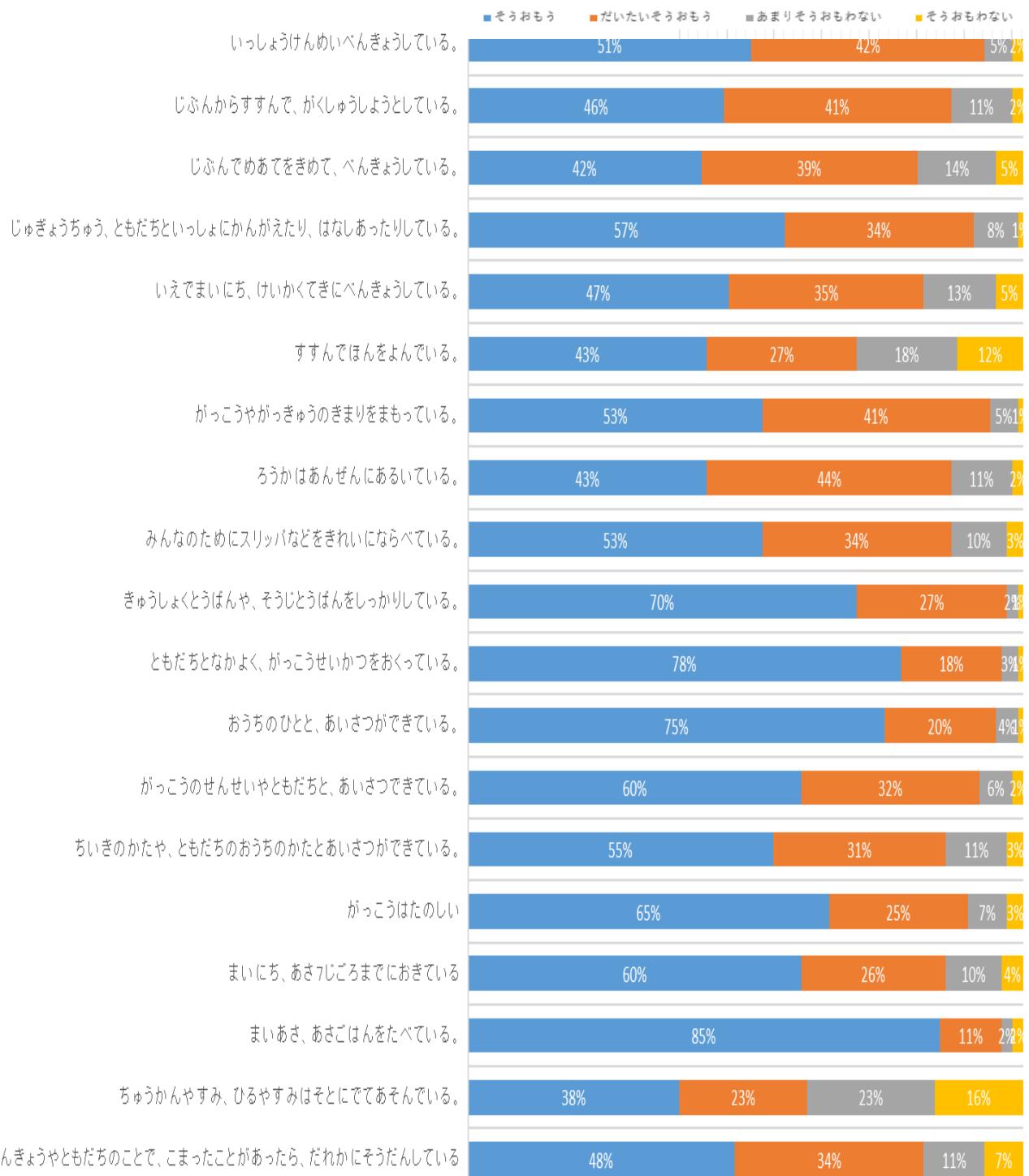
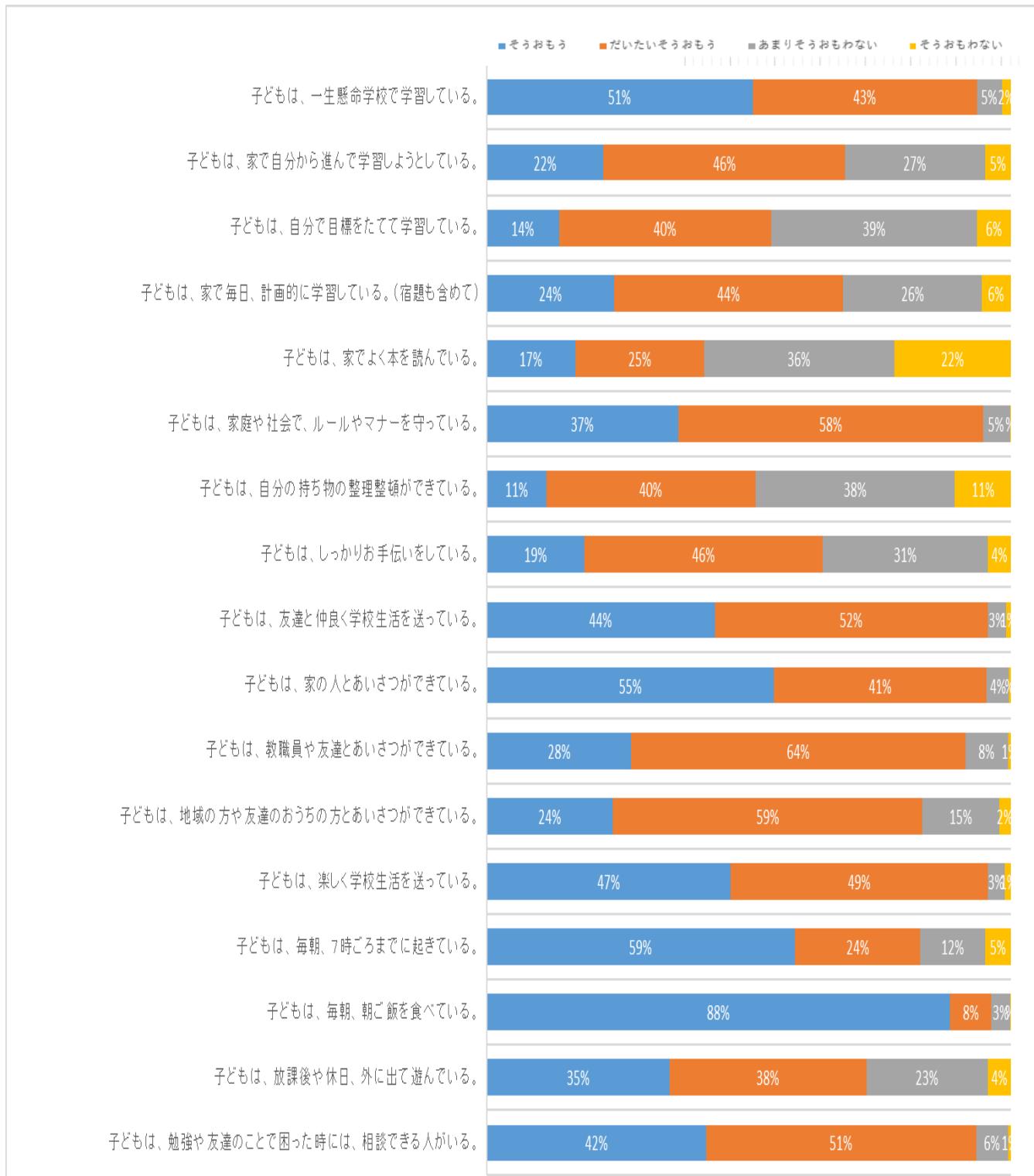


# 太秦みどり通信

学校評価アンケートでは児童・保護者・教職員がそれぞれの立場で自己評価し、個々の質問項目に対しての意識をまとめて数値化を行っています。結果と実態とを照らし合わせて考察し、今後の太秦小学校の学校教育に生かしていくものとしています。自由記述欄には多くの貴重なご意見をいただきました。教職員で全ての内容の確認をしております。ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。現在のよい取組を大切にしながらも改善に取り組み、より一層充実した太秦小学校の教育活動の実践に努めてまいります。

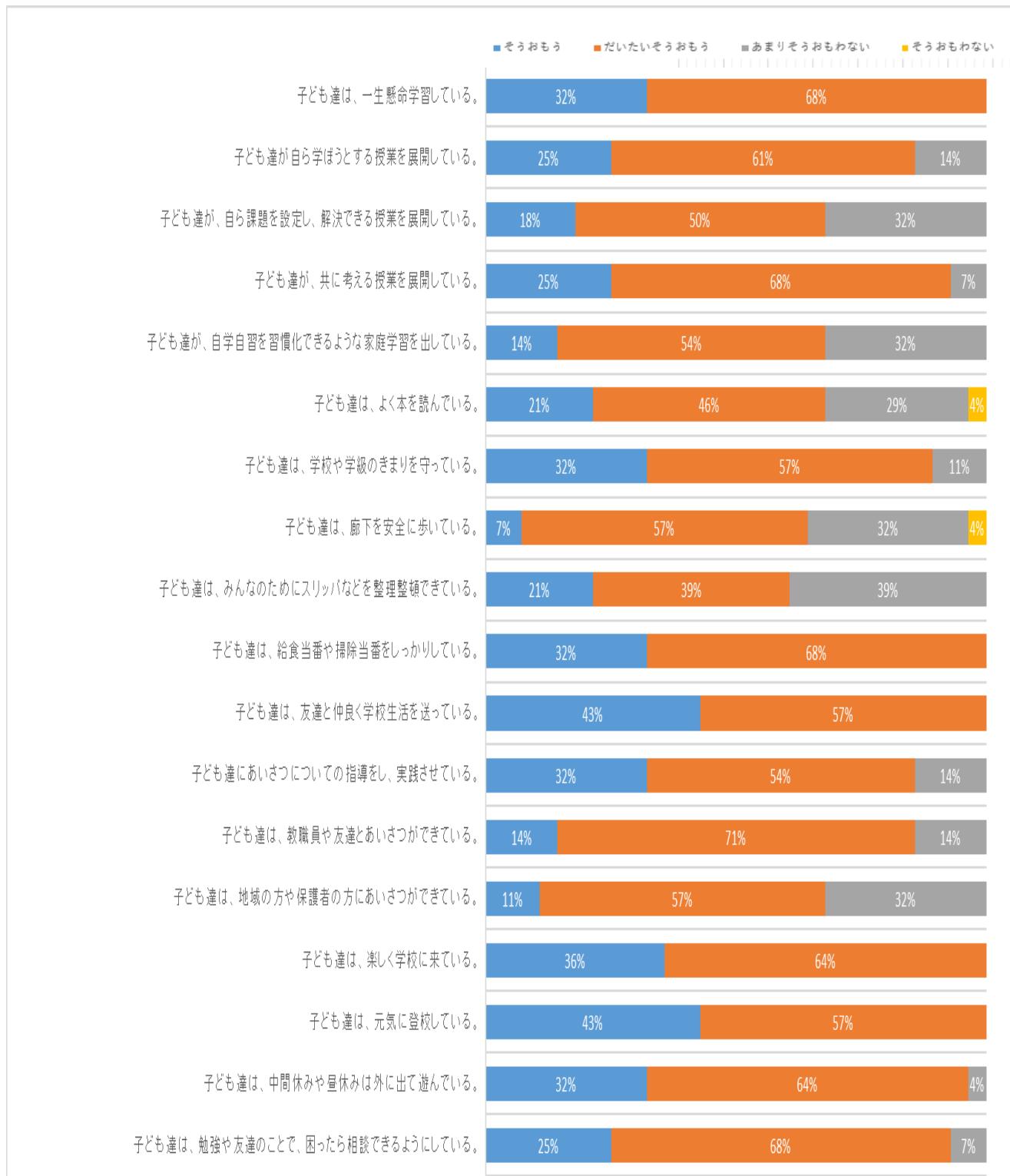


## 保護者



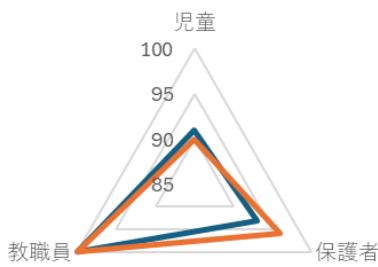
学校ホームページもご覧ください。  
お子たちの学校生活をお伝えしています。

## 教職員



児童・保護者・教職員の回答集計結果を受け、考察を加えた項目についてと保護者の皆さまからいただいたご意見をお伝えいたします。下のグラフは、「児童」「保護者」「教職員」それぞれの各アンケート項目での「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的な意見を表したものです。

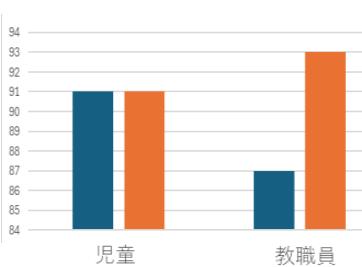
(青は令和6年度後期、赤は本期の調査結果となります)



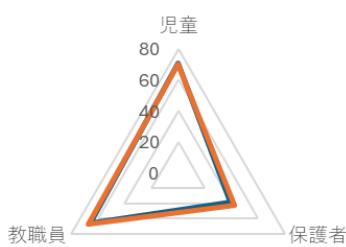
児童「学校は楽しい」、保護者・教職員「楽しく学校に通っている」についての項目では、児童90%保護者96%教職員100%の結果でした。一方、10%の児童が「あまりそう思わない」・「そう思わない」の否定群を選択しています。保護者や教職員の結果と児童の結果にも差異が見られます。社会生活の基礎となる学校生活、友だちや先生とのかかわりの楽しさを一人ひとりの子どもたちが実感できる場づくりをチーム学年・チーム学校として進めていきます。また学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに、これまで以上に努めてまいりたいと考えます。



「主体的な学習」についての項目では、児童87%保護者68%教職員86%の結果でした。児童の結果では低学年93%、中学年85%、高学年81%の結果でした。高学年になるにつれ学習内容は多く、難しくなっていきます。子どもたち一人ひとりに寄り添い、がんばりを後押しし、主体的に学習に取り組むことができるよう、日々の授業に改善を重ねてまいります。また、ご家庭におかれましても、お子たちが自ら学習に取り組むことができるよう、あたたかな見守りと共に励ましのお声かけをお願いいたします。

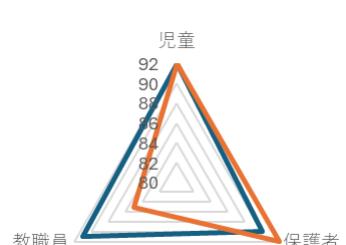


「話し合い」についての項目、児童「授業中に友だちと一緒に考えたり、話し合ったりしている」91%、教職員「子どもたちがともに考える授業を展開している」93%の結果でした。今年度の研究でも「コミュニケーション能力の向上」についても取り組んでいます。「話すこと」に苦手意識を感じる児童も少なくないですが、授業の中で意図的・計画的に対話に取り組むことで、力を伸ばしてきていることも感じています。「聞くこと」についても、丁寧に指導し、相手の思いや考えを受け止め、尊重しあうことによりよい人間関係を築いていきたいと思います。

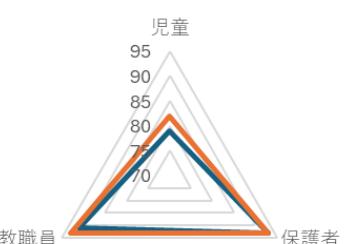


「読書」についての項目では、児童70%保護者42%教職員67%の結果でした。授業の合間にも読書をする児童も見られますが、その数はあまり多くはありません。学校図書館の利用を促したり、学級文庫の充実を図ったり、国語科の授業の中での並行読書の紹介なども行い、読書活動のさらなる充実を図っていきたいと考えます。

日頃より読み聞かせサークルの皆様には大変お世話になっています。先日の読み聞かせ会ではたくさんの子どもたちの笑顔が見られました。ありがとうございました。



「挨拶」についての項目では、「教職員や友だちと挨拶をしている」を比較しました。児童92%保護者92%教職員85%の結果でした。児童の結果では低学年92%、中学年88%、高学年94%の結果でした。挨拶は相手を思いやる気持ち、相手の存在を認めていることを相手に伝えるためにも大切なことです。コミュニケーションの入り口として、対面の際には会釈をすることなどから始めていくことができるよう声かけをしていきたいと考えます。また、児童会などを通じて子どもたちへの呼びかけを進めていくことができればと考えます。



「相談」についての項目では、児童82%保護者93%教職員93%の結果でした。高学年児童では78%の結果でした。22%が否定群を選択しています。本当に困ったことが起こったときに相談できる人がいるという状況は確保しておかなければなりません。話しやすい雰囲気があるクラス・学年・学校を作ることができるように、児童と信頼関係を築くことができるよう努力していきます。地域や保護者の皆様におかれましても、お子たちのことでお気づきのことがありましたら、ご遠慮なく学校までご相談ください。

## 太秦小学校 学校教育目標

夢に向かって 進んで学び ともに高め合う子どもの育成

### 【目標す子ども像】

学ぶ遊ぶ協力すべて楽しく！一生懸命太秦っ子

進んで学習し、よりよい学びを創る子ども

互いを認め合い、思いやりのある子ども

自分も友達も大切にし、笑顔でいさつができる子ども

命を大切にし、心も体もたくましい子ども

### 【育成を目指す資質・能力】

問題発見・解決力

コミュニケーション能力

### 【3つの行動目標】

笑顔でいさつ

廊下の安全歩行

みんなのための整理整頓

子どもを共に育む  
京都市民憲章



京都はぐくみ憲章  
社会のあらゆる場で実践し、  
行動の輪を広げましょう！

## 自由記述欄より

- ・クラス懇談では、学年目標や取り組みやえがおの日の取り組みなど、学校の教育方針を知ることができるので、子どもの学びに対して同じ目標を持つことができるのが良いと思います。個人懇談でも、子どもの具体的な様子から対応を提示下さるので、子どもの成長を安心して見守ることができます。また学級担任以外の先生方も、校内で気さくに声かけて子どもの様子を知らせてくれるので、全体で子どもを支えてもらっているという実感があります。
- ・たてわり活動のような上級生と下級生の学びの場が定期的に増えると、上級生のプレゼンテーション能力や下級生の考える力が上がり、win-winになるのではないかと思います。（先日の平和学習で6年生から聞いた話がとても心に響いたようで、家でも親子で改めて戦争のことについて話し合うきっかけになりました。ありがとうございました。）
- ・話し表現するための第一歩として、聞く力の成長が必要と感じています。聞く内容を理解し適切に会話をすることによって、より円滑な人間関係と共に成長して欲しいと思います。同級生と多く接する学校でも、お互いに話を聞く（相手を理解する）ことの大切さを教えていただけると幸いです。
- ・自分の夢があることはとてもステキだし、それを友だちと共有する時間をもつことでよりよく友だちのことも知れたり、夢について話し合いの場や意見交換の場を通じたりして、お互いもっと夢に向き合っていけるかなと思います。
- ・一人一人の長所に気付き、個々に伸ばしてやれる環境を作ってもらいたい。
- ・学校や先生に任せきりにするのではなく、家庭や地域が、安全で学ぶことに集中できる環境づくりも重要だと考えます。

## 学校運営協議会の皆様より

- ・挨拶がもっと広がるような取組が必要だと考える。
- ・本を読んでいない児童の割合が増えてきている。読む児童と読まない児童の差も大きくなっている。児童に読書習慣をつけることができるよう、周りの大人も読む姿を見せることも必要だと考える。
- ・漢字の読み書きや計算など、学習の基礎基本となることを大切にしていきたい。
- ・児童が困っているときに相談できる周りの大人でありたい。家庭だけでなく、学校や地域と連携しあって、児童の環境を整えていきたい。